

## ◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(10歳代男性, 50歳代男性)あり, 本年の累積報告数は13例となっています。発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。  
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- 梅毒の報告が2例(50歳代男性1例, 70歳代男性1例)あり, 本年の累積報告数は46例となりました。重症化及び感染拡大を防ぐためには, 早期発見, 早期治療が非常に重要です。京都市では, 平日昼間, 土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については, 下記のホームページを御覧ください。  
○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

## ◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

- 京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.0(42例)となり, 前週0.64から増加し, 全国でも9週連続で増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類: 結核 7例(肺結核 6例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 222例(肺結核 116例, その他結核 34例, 潜在性結核感染者 72例)うち喀痰塗抹陽性 57例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 13例】
- 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 46例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

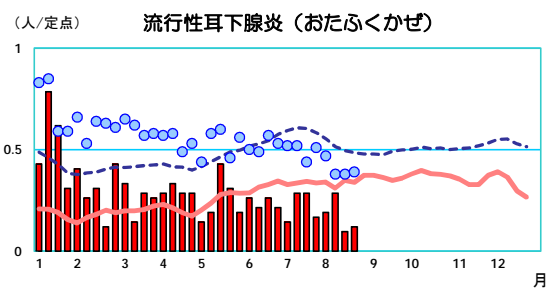
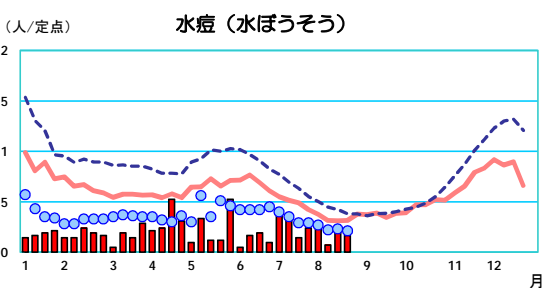
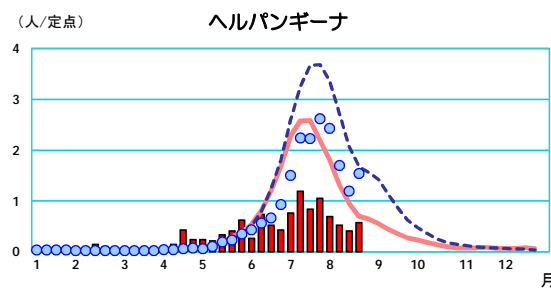
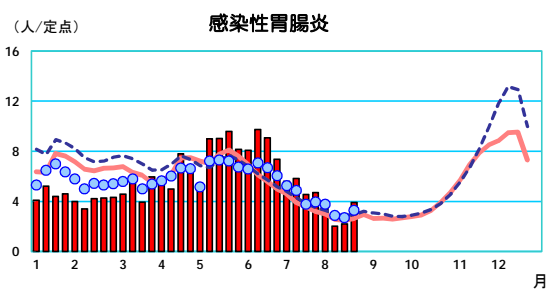
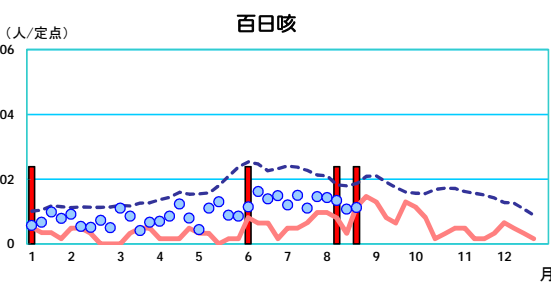
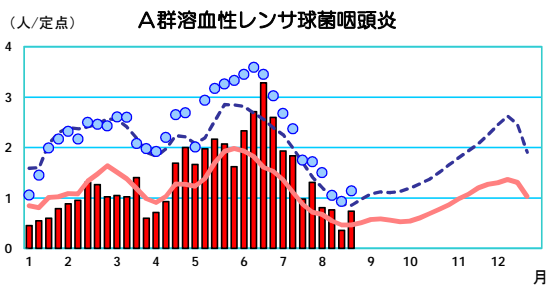
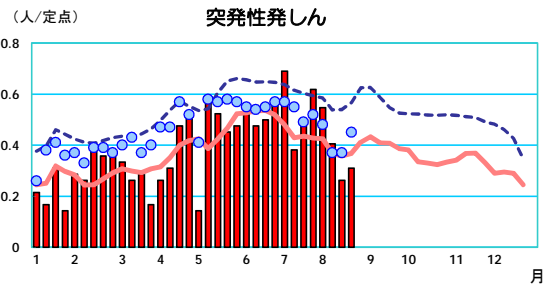
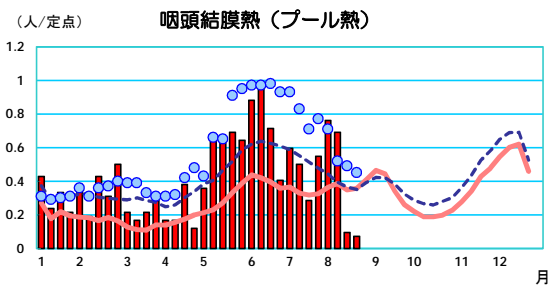
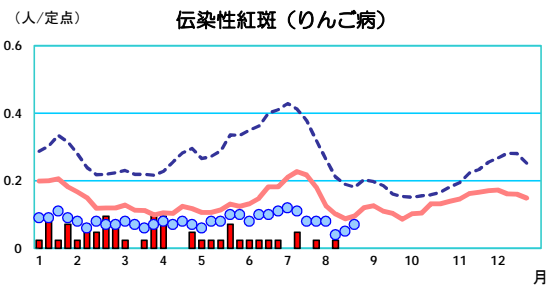
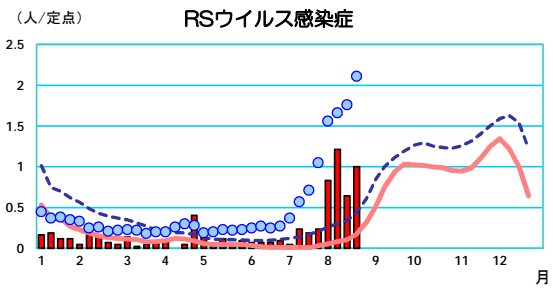
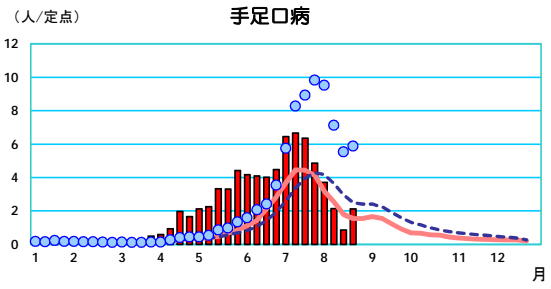
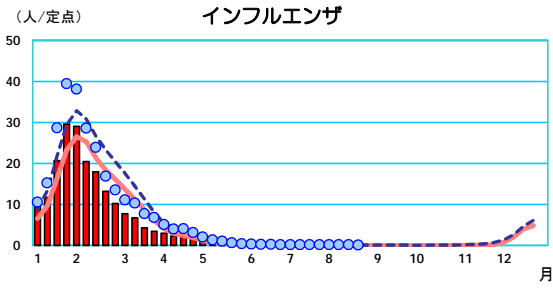
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 10	7
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3. 90	164
	② 手足口病	2. 12	89
	③ RSウイルス感染症	1. 00	42
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 74	31
	⑤ ヘルパンギーナ	0. 57	24
眼科	流行性角結膜炎	0. 80	8

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成29年8月30日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



## 第34週(8月21日～8月27日)トピックス: <RSウイルス感染症>

### 京都市及び全国の発生動向

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.0(42例)となり、前週0.64から増加し、全国でも9週連続で増加しています(図1)。過去5年間の定点当たりの報告数の推移を見ても、京都市及び全国共に例年に無い早い時期の上昇が見られます(図2, 図3)。京都市の年齢階級別割合は、昨年までと同様、3歳以下で全報告数の95%以上を占めています(図4)。例年、秋から冬にかけて報告数が多いことから、今後の発生動向に注意が必要です。

### 症状及び感染経路

潜伏期間は通常4～6日で、発熱、鼻汁、咳などの症状が数日続きます。多くは軽症ですが、喘鳴、呼吸困難などの症状が現れ、細気管支炎、肺炎へ進展することがあり、入院事例のピークは生後6ヶ月までにあります。頻度は低いですが、生後1か月未満の子供が感染した場合、突然死につながる無呼吸発作を起こすことがあります。感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物品(ドアノブ、手すり、おもちゃ等)を介した接触感染です。

### 予防

発症の多くは0～1歳児であることから、咳などの呼吸器症状のある人は可能な限り、乳幼児との接触を避けることが予防につながります。子供に日常的に接する人は、流行時期は特に、感染予防のためマスクを着用することが大切です。また、子供が触れるおもちゃや手すりなどはこまめに消毒し、流水・石鹸による手洗い及び手指消毒を励行しましょう。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

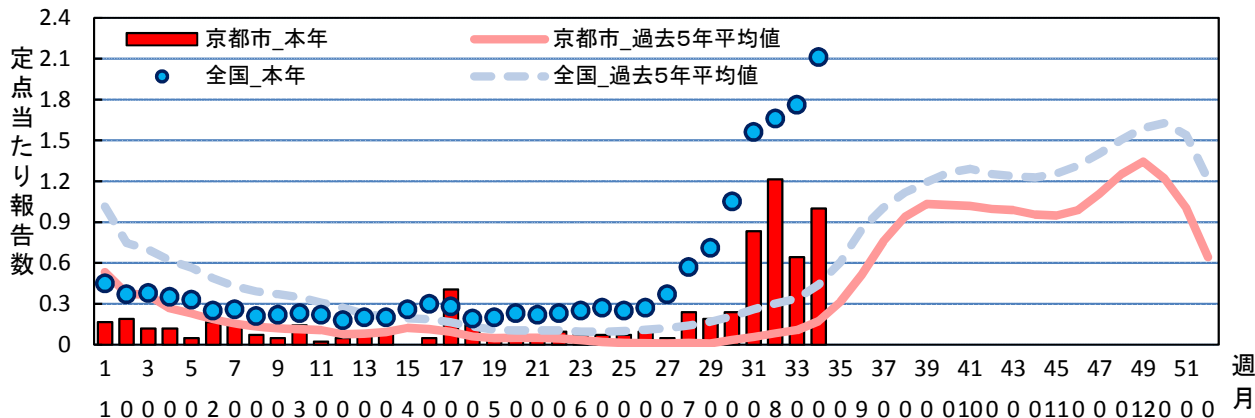


図2 過去の定点当たり報告数の推移(京都市)

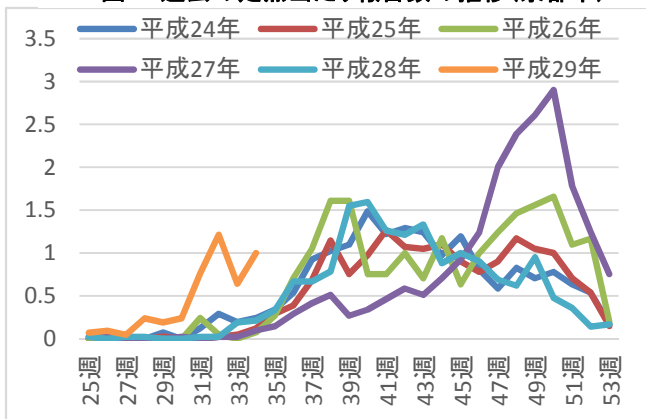


図3 過去の定点当たり報告数の推移(全国)

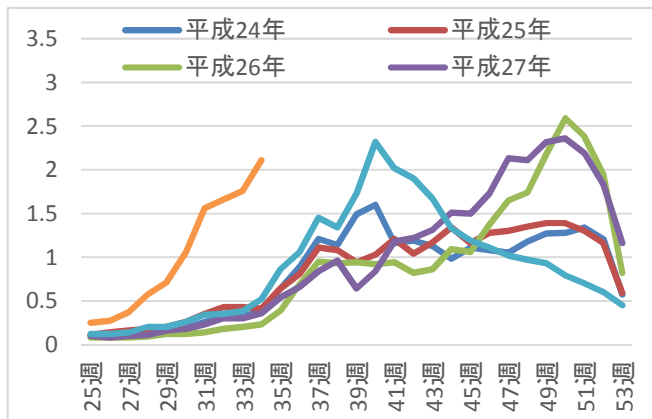
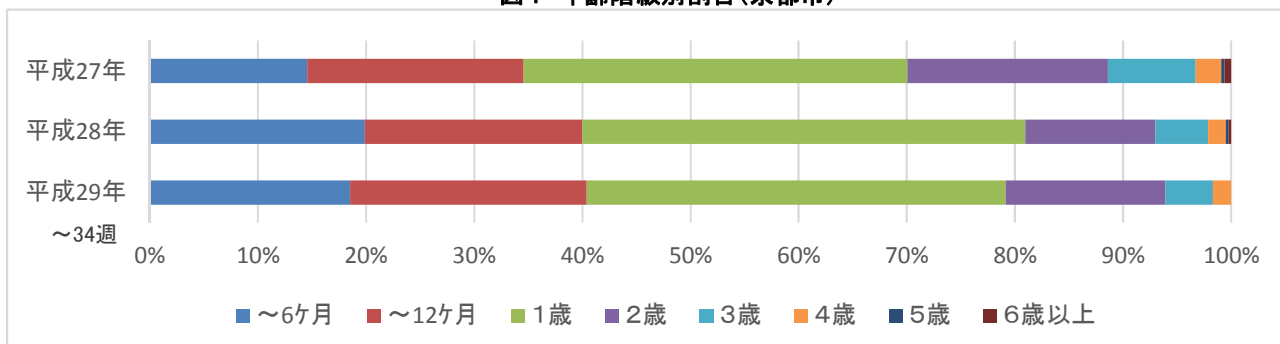


図4 年齢階級別割合(京都市)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第34週

疾病,行政区別報告数

平成29年8月21日～平成29年8月27日

データ入手日:平成29年8月30日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	5	2	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	1						
上京	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	9	-	5	38	4	10	-	1	-	3	1	-	-						
中京	-	4	1	-	3	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	1	-	-	16	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
山科	-	5	1	3	3	1	9	-	1	-	1	1	-	3						
下京	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	1	-	-	8	-	13	-	2	-	6	1	-	-						
右京	-	5	1	10	11	-	23	-	1	-	6	1	-	3						
伏見	1	12	-	7	59	2	22	-	4	1	6	1	-	1						
西京	-	3	-	3	21	-	7	-	2	-	1	-	-	-						
京都市計	7	42	3	31	164	7	89	-	13	1	24	5	-	8	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.71	0.50	-	0.25	0.75	-	0.25	-	-	-	-	-	-	1.00						
上京	-	-	-	0.67	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	2.25	-	1.25	9.50	1.00	2.50	-	0.25	-	0.75	0.25	-	-						
中京	-	1.33	0.33	-	1.00	-	0.67	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	0.50	-	-	8.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
山科	-	1.25	0.25	0.75	0.75	0.25	2.25	-	0.25	-	0.25	0.25	-	3.00						
下京	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	0.33	-	-	2.67	-	4.33	-	0.67	-	2.00	0.33	-	-						
右京	-	1.00	0.20	2.00	2.20	-	4.60	-	0.20	-	1.20	0.20	-	3.00						
伏見	0.09	1.71	-	1.00	8.43	0.29	3.14	-	0.57	0.14	0.86	0.14	-	0.50						
西京	-	0.60	-	0.60	4.20	-	1.40	-	0.40	-	0.20	-	-	-						
京都市計	0.10	1.00	0.07	0.74	3.90	0.17	2.12	-	0.31	0.02	0.57	0.12	-	0.80	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第34週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年8月21日～平成29年8月27日

データ入手日:平成29年8月30日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	7	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	1	2	-	1	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	42	5	7	19	8	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		3	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		31	-	1	2	2	2	4	4	5	5	2	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		164	4	22	33	16	23	7	5	2	3	5	6	14	6	18	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	-	-	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		89	1	10	44	10	10	8	1	1	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	3	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		24	-	4	11	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		5	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	8	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	1	1	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.10	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	0.01	-	-	-	0.01	0.01	0.03	-	0.01	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	1.00	0.12	0.17	0.45	0.19	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.07	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.74	-	0.02	0.05	0.05	0.05	0.10	0.10	0.12	0.12	0.05	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		3.90	0.10	0.52	0.79	0.38	0.55	0.17	0.12	0.05	0.07	0.12	0.14	0.33	0.14	0.43	-	-	-	-	-	-
水痘		0.17	-	-	-	0.10	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		2.12	0.02	0.24	1.05	0.24	0.24	0.19	0.02	0.02	-	-	-	-	0.02	-	0.07	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.31	-	0.07	0.21	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.57	-	0.10	0.26	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.07	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.12	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.80	-	-	0.10	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第34週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年8月30日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		7	5	12	-	5	7
RSウイルス感染症		8	10	35	51	27	42
咽頭結膜熱		12	23	32	29	4	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		41	55	34	32	15	31
感染性胃腸炎		191	198	170	85	92	164
水痘		6	10	11	3	9	7
手足口病		267	204	156	90	36	89
伝染性紅斑		-	1	-	1	-	-
突発性発しん		20	26	23	17	11	13
百日咳		-	-	-	1	-	1
ヘルパンギーナ		35	44	29	22	17	24
流行性耳下腺炎		12	7	8	12	4	5
急性出血性結膜炎		-	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎		7	8	5	5	2	8
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		606	592	515	348	222	394

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.10	0.07	0.17	-	0.07	0.10
RSウイルス感染症		0.19	0.24	0.83	1.21	0.64	1.00
咽頭結膜熱		0.29	0.55	0.76	0.69	0.10	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.98	1.31	0.81	0.76	0.36	0.74
感染性胃腸炎		4.55	4.71	4.05	2.02	2.19	3.90
水痘		0.14	0.24	0.26	0.07	0.21	0.17
手足口病		6.36	4.86	3.71	2.14	0.86	2.12
伝染性紅斑		-	0.02	-	0.02	-	-
突発性発しん		0.48	0.62	0.55	0.40	0.26	0.31
百日咳		-	-	-	0.02	-	0.02
ヘルパンギーナ		0.83	1.05	0.69	0.52	0.40	0.57
流行性耳下腺炎		0.29	0.17	0.19	0.29	0.10	0.12
急性出血性結膜炎		-	0.10	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.70	0.80	0.50	0.50	0.20	0.80
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		14.90	14.73	12.53	8.67	5.39	9.93

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。